



大阪公立大学
生涯学習センター

公開講座のご案内

2026

4月～9月



ごあいさつ

生涯にわたる多様な学び継続のための公開講座

大阪公立大学生涯学習センターは、それぞれに長い歴史を有した大阪府立大学と大阪市立大学を統合して誕生した総合大学ならではの「総合知」を活かし、生涯にわたる学びの機会を提供する場として設立されました。私たちの使命は、学術的な知見を地域社会に広く還元し、多様な学びを通じて人々の知的探究心を育むことにあります。

本センターでは、大学の教育研究成果を基盤に、時代のニーズに応じた質の高い学習プログラムを展開しています。専門知識の習得だけでなく、異なる分野を横断的に学ぶことで生まれる「総合知」を提供し、多様な視点からの学びを推進しています。

地域の学びの拠点として、世代や背景を超えた交流の場を創出し、人と人とのつながりを通じて、新たな価値を共に創造してまいります。皆さまが学びを通じて新たな可能性を発見し、より豊かな人生を歩んでいただけるよう、心よりお待ちしております。

生涯学習センター長 樋口 由美



安心安全に受講していただくための対策とお願い



- ・常時空調運転による換気を実施しています。
- ・講座の前後に教室内、施設内を消毒しています。



- ・発熱や体調不良のある方は、参加をお控えください。
- ・会場では基本的な感染症対策(手指消毒、換気の実施等)にご協力ください。

受講に際しての注意事項

- ・受講生本人以外の代理出席、同伴、見学はできません。
- ・車両での来学はご遠慮いただいております。公共交通機関をご利用ください。
- ・受講に際し、障がい等を理由としてなんらかの配慮が必要な場合は事前にご相談ください。
- ・講義中、講師や他の受講生に迷惑になるような行為、その他本学が講座運営上不適切と判断する行為があった場合は、受講資格を取り消すことがあります。
- ・感染症の流行や自然災害等の影響により、日程・開催方法・講座内容が変更となる場合があります。
- ・上記のほか、受講にあたってのご案内・注意事項はP13～14をご覧ください。



Meet 学問に出会う

難易度 ★ (初心者歓迎)

音楽と科学 ～その共通性を探して～

P3

開催日 4/3～5/15

定員 60名

受講料 5,000円 (全6回分)

I-siteなんば

理工

次のパンデミックに備えて、今何が必要か？

P4

開催日 4/11～5/23

定員 60名

受講料 5,000円 (全6回分)

I-siteなんば

横断

平安期仏教説話集の世界 — 『日本霊異記』 『三宝絵』 『法華験記』 —

P5

開催日 4/16～6/25

定員 各80名

受講料 7,000円 (全10回分)

I-siteなんば

人文

「クルチザンヌ」(高級娼婦)の物語を読み直す

P6

開催日 5/13～7/22

定員 60名

受講料 7,000円 (全10回分)

I-siteなんば

人文

機能的なウォーキングエクササイズ

P7

開催日 5/11～6/29

定員 50名

受講料 5,000円 (全8回分)

森之宮キャンパス

生活・健康

公大講座

P7,8

開催日 9/2～9/25

定員 60名

受講料 5,000円 (全9回分)

I-siteなんば

横断

Enrich 学問を深める

難易度 ★➤ (要基礎知識) ～★★★★ (専門職向け)

韓国語講座 初中級編Ⅱ

P10

開催日 4/18～2/6

定員 40名

受講料 25,000円 (全20回分)

I-siteなんば

人文

公開講座の会場

※地図は本冊子P15をご覧ください。

公開講座のカテゴリー

※各講座の右上に表示しています。

人文 (哲学、歴史、教育、心理、言語、文学、芸術、文化 など) 社会 (経営、経済、法学、政治、都市防災 など)
 IT (情報、通信、人工知能 など) 理工 (数学、自然科学、工学 など) ライフサイエンス (生物、農学、獣医学 など)
 生活・健康 (医学、看護、福祉、栄養、居住、スポーツ など) 横断 (分野横断) その他



Meet

学問に出会う

申込締切
3/11(水)

音楽と科学 ～その共通性を探して～

理工

講座の詳細・申し込み ▶



日時：4月3日(金)～5月15日(金) 14:00-15:30 各金曜日・全6回

定員：60名 受講料：5,000円 (全6回分)

URL：<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-06447.html>

I-siteなんば

講義概要

一見あまり共通点が無いように思われる音楽と科学について、歴史的共通性、論理的共通性、さらには振動数と和音および調律法との関係について考えることにより、互いに関連する事柄を見つけていきます。

講師 川又 修一 (大阪公立大学大学院 工学研究科 教授)
※2026年3月に退官予定のため、4月より肩書が変更となります。



講義スケジュール

- | | |
|-----------------|---|
| 第1回
4月3日(金) | 自由七課、ガリレイ父子
西洋中世の大学における教養科目で音楽は理科系科目に分類されていました。中世からバッハに至る音楽における響きの変遷をたどります。また、ガリレオ・ガリレイが一般の科学研究に数値を用いた解析を導入したきっかけを紹介します。 |
| 第2回
4月10日(金) | ニュートンとバッハ、和声法
古典力学を確立したニュートンと音楽の父バッハの歴史的役割の共通性を考えます。また後期バロック時代、それ以降に基本となる和声法の基礎が確立されました。その後の和声法に従わない試みもたどってみます。 |
| 第3回
4月17日(金) | 変奏曲と和声進行
科学では基本法則に基づいて様々な現象が説明されます。音楽においても基本となる要素を様々な発展させることにより曲が構成される例を紹介し、変奏曲と和声進行をとおして音楽における論理的構成について考えます。 |
| 第4回
4月24日(金) | 振動の物理、楽器と振動数
音は空気の振動現象です。振動数と波長を考えることにより、低音の楽器(例：チェロ)が高音の楽器(例：ヴァイオリン)よりも大きいのは何故かについて理解できます。 |
| 第5回
5月8日(金) | ピタゴラスと和音・音律
ギリシャ時代のピタゴラスは弦の長さとの関係性を調べました。その結果に基づき西洋では14世紀に至るまでピタゴラス音律が調律法の基本でした。振動数比2:3を基本にして構成されるピタゴラス音律を紹介します。 |
| 第6回
5月15日(金) | 純正律と平均律、音律と響きの変遷
ルネサンスの始め頃にドとミが協和する純正律が導入されました。さらに19世紀の終わりごろピアノの普及とともに平均律という調律法が広く使われるようになりました。音律、調律法の観点から響きの歴史について総括してみます。 |

*本冊子に掲載していない講座もあります。

*各講座の詳細および申込ページは、順次Webサイトに公開されます。

(開講日の1～2か月前に公開・申込開始を予定しております)

大阪公立大学 生涯学習・公開講座WebサイトURL

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/>

横断

申込締切
3/22(日)

次のパンデミックに備えて、今何が必要か？

講座の詳細・申し込み▶

日時：4月11日(土)～5月23日(土) 10:30-12:00 各土曜日・全6回

定員：60名 受講料：5,000円（全6回分）

URL：https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-06493.html

I-siteなんば

講義概要

大阪・関西万博は、懸念された感染症の大規模な発生もなく無事に閉幕しました。しかし、国内では依然として多様な感染症が流行しており、海外に目を向ければエムポックス（Mpox）やデング熱、百日咳といった新興・再興感染症が猛威を振るい、多くの犠牲者が出ています。

世界的な人口増加や経済活動に伴う未開地の開発が進む中、インバウンドの回復により、人の往来はかつてないほど活発化しています。こうした状況下では、新たな感染症がいずれかの地域で発生すれば、再びパンデミックを引き起こし、日本国内へ持ち込まれる可能性は否定できません。

そこで2026年度の公開講座では、「次のパンデミックに備えて、今何が必要か？」をメインテーマに掲げました。大阪国際感染症研究センターが取り組んでいる多角的な対策や最先端の活動について、さまざまな角度から紹介します。



講義スケジュール

医療を守る！感染対策に尽力する専門家の役割

第1回
4月11日(土)

医療の安全を支える「感染対策の専門家」。未知のウイルスや耐性菌から命を守る役割、多職種を束ねるリーダーシップ、大阪の医療を次世代へ繋ぐ人材育成の最前線。現場で彼らが果たす役割とその重要性を紹介します。

講師：喜田 雅彦（大阪国際感染症研究センター 人材育成部門 / 看護学研究科 講師）

感染・重症化するリスクを抑える社会経済的な条件

第2回
4月18日(土)

感染症の広がりや個人への注意だけでなく、住まいの環境や人との接触の多さ、地域の特徴とも関係しています。データから見える社会経済的背景と、リスクを下げるための工夫をわかりやすく解説します。

講師：五石 敬路（大阪国際感染症研究センター 社会環境部門 / 都市経営研究科 教授）

病原体ゲノムデータ解析の全国展開：研修事業から見た現状と課題

第3回
4月25日(土)

病原体の特徴や拡散状況を正確に捉える「病原体ゲノム解析」。その先進技術をいかに社会実装していくのか。全国研修事業を通じて浮かび上がった課題と可能性から、次世代の感染症対策の展望をお話します。

講師：和田 崇之（大阪国際感染症研究センター 新興・再興感染症部門 / 生活科学研究科 教授）

アロステリック創薬を基盤とした新規トリパノソーマ症治療薬の開発

第4回
5月9日(土)

トリパノソーマ症（アフリカ睡眠病およびシャーガス病）の原因となる原虫に必須なアロステリック酵素であるプリン代謝酵素を標的にした新規治療薬開発に挑む研究内容について紹介します。

講師：乾 隆（大阪国際感染症研究センター 研究推進部門 / 創薬科学研究科 研究科長予定者）

ネクストパンデミックに備えて～SHIONOGIの創薬イノベーション（COVID-19の教訓から）～

第5回
5月16日(土)

SHIONOGIがCOVID-19パンデミック禍での治療薬開発で得た教訓から、次のパンデミックに備えて平時から取り組み、グローバル連携を踏まえた最新の創薬イノベーションをわかりやすく解説します。

講師：上原 健城（塩野義製薬株式会社 執行役員・医薬開発本部長）

感染症の流行を把握する：下水サーベイランスの可能性

第6回
5月23日(土)

感染症の下水サーベイランスは、無症状の感染を含む流行の兆しを早期に捉える手法です。その仕組みと、万博を通して大阪で進めた取り組み、将来の社会的意義と持続的な活用可能性を紹介します。

講師：濱口 重人（大阪国際感染症研究センター 行政連携部門 / 大阪健康安全基盤研究所 健康危機管理監）

申込締切
3/22(日)

平安期仏教説話集の世界

— 『日本霊異記』 『三宝絵』 『法華験記』 —

講座の詳細・申し込み▶

人文



日時：4月16日(木)～6月25日(木) 11:00-12:30、14:30-16:00 各木曜日・全10回

定員：各80名 受講料：7,000円（全10回分）

URL：<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-06501.html>

I-siteなんば

講義概要

日本における説話集の歴史は、多く仏教とともにありました。専門の僧徒や知識ある貴顕のみならず、衆庶に広く仏教の理念を説くためには、具体性のある説話が恰好の材になったはずです。本講座では、『日本霊異記』『三宝絵』『法華験記』について、作品の全体像や著者をめぐる歴史状況、さらには当代の信仰・時代思潮との関わりについて整理し、各説話集の史的意義について理解を深めることをめざします。

講師 田中 宗博（大阪府立大学 名誉教授）



講義スケジュール

- | | |
|------------------|--|
| 第1回
4月16日(木) | 『日本国現報善悪霊異記』の世界
日本最初の説話集『日本霊異記』について、史的意義を講じるとともに、巻頭3話が雷や狐が登場する非仏教的話柄であることの意味を考えます。 |
| 第2回
4月23日(木) | 『日本霊異記』説話の読解 1
長屋王の悪死を伝える説話について、私度僧の文学と呼ばれる要因を講じると共に、大寺院の利益に即した〈畜類償債譚〉を視野に、作品の二面性を考えます。 |
| 第3回
4月30日(木) | 『日本霊異記』説話の読解 2
悪因悪果の現報譚から中巻3話と下巻16話を採り上げて、「母」なる存在がどのように形象され、仏教唱導説話に位置付けられたかについて考えます。 |
| 第4回
5月7日(木) | 『三宝絵』の世界
幸薄き尊子内親王への仏教入門書として構想された『三宝絵』（絵は散佚）について概観・講述し、文人貴族源為憲の文学活動についても概説します。 |
| 第5回
5月14日(木) | 『三宝絵』説話の読解 1
釈迦の前世譚を類纂した上巻の中から、著名な捨身飼虎説話＝薩埵王子本生譚（上巻11話）を採り上げて読み解き、法隆寺玉虫厨子との関係についても講じます。 |
| 第6回
5月28日(木) | 『三宝絵』説話の読解 2
後に鴨長明『発心集』にも継承された、中巻18話「大安寺栄好」条を読みます。同話は、石淵寺法華八講の起源を説くとともに、母子死別の哀話としての一面を持ちます。 |
| 第7回
6月4日(木) | 『大日本国法華経験記』の世界
天台僧鎮源撰『法華験記』について全体像を概観し、説話の配列原理や構想・成立事情について講じ、あわせて『今昔物語集』との関係についてもふれます。 |
| 第8回
6月11日(木) | 『大日本国法華経験記』説話の読解 1
上巻第1話を読みます。本朝仏法の始祖聖徳太子の伝は、『霊異記』『三宝絵』『日本往生極楽記』『今昔』等の説話集が、等しく巻頭に配す最重要説話でありました。 |
| 第9回
6月18日(木) | 『大日本国法華経験記』説話の読解 2
法華経優位を端的に語ろうとする寓意性の高い一話＝中巻48話「光勝沙門・法蓮法師」について、民間伝承のモチーフとの関わりも踏まえて読解します。 |
| 第10回
6月25日(木) | 『大日本国法華経験記』説話の読解 3
下巻81話「越後国神融法師」条を採り上げ、新来の仏教と在来の神祇信仰の葛藤がどのように構想され、神仏習合説話として形象されたかについて考えます。 |

受付開始
3月上旬

人文

「クルチザンヌ」（高級娼婦）の物語を読み直す

日時：5月13日(水)～7月22日(水) 14:30-16:00 各水曜日・全10回

定員：60名 受講料：7,000円（全10回分）

Webページ公開・申込受付開始：3月上旬～

I-siteなんば

講義概要

19世紀フランス文学において、クルチザンヌは重要な位置を占めています。娼婦を扱った『マノン・レスコー』『椿姫』『レ・ミゼラブル』は日本で良く知られた作品ですが、読者はそれが「男の視点」で描かれていることに気づかないことが多いと思います。本講座は、発想を転換して「女の視点」からクルチザンヌの物語を読み直す試みとなっています。

講師 村田 京子（大阪府立大学 名誉教授）



講義スケジュール

第1回 売春の歴史

5月13日(水)

古代ギリシアから18世紀フランスにおけるまで、西欧における娼婦の歴史について簡潔に触れます。

第2回

5月27日(水)

アベ・プレヴォーの『マノン・レスコー』

小説の主人公マノンは、「恋するクルチザンヌ」（真実の愛に目覚めた娼婦が悔悛して苦難の道を歩み、罪を償って死ぬ）の原点とみなされています。ロマン主義文学の先駆けとされるこの小説において、マノンがどのように描かれているのかを探っていきます。

第3回

6月3日(水)

第4回

6月10日(水)

アレクサンドル・デュマ・フィスの『椿姫』

『マノン・レスコー』から大きな影響を受けたデュマ・フィスの『椿姫』を取り上げ、両作品を比較しながら、その共通点、相違点を明らかにします。とりわけ、時代背景（18世紀の摂政時代のフランス社会と19世紀のブルジョワ社会）の違いに焦点を当て、ブルジョワ道徳に基づく娼婦像をクローズアップしたいと思っています。

第5回

6月17日(水)

ジョルジュ・サンドの『イジドラ』

第6回

6月24日(水)

デュマ・フィスの『椿姫』には実在のモデル（マリー・デュプレシ）が存在していましたが、サンドの『イジドラ』も同じ女性をモデルにしています。しかし、その内容や結末は全く異なるものです。「女の視点」から描いた娼婦像がどのようなものなのかを明らかにしていきます。

第7回

7月1日(水)

ウージェーヌ・シュアの『パリの秘密』

19世紀後半のフランスでは、貧困に喘ぐ人々を社会の犠牲者とみなし、博愛主義的な立場から社会を改善していこうとする「社会主義」の考えが広がりました。「社会主義」の影響を受けて書かれた小説が「社会小説」と呼ばれています。その代表作であるシュアの『パリの秘密』を取り上げ、「社会小説」に登場する娼婦像を探っていきます。

第8回

7月8日(水)

第9回

7月15日(水)

ヴィクトル・ユゴーの『レ・ミゼラブル』

ユゴーの『レ・ミゼラブル』も「社会小説」の範疇に属し、主人公のジャン・ヴァルジャンが育てるコゼットの母親ファンテーヌが娼婦として登場します。その娼婦像をユゴーの女性観や政治観に照らして探ると同時に、ユゴーの初期の作品から『レ・ミゼラブル』にいたる娼婦像の変遷を辿っていきます。

第10回

7月22日(水)

受付開始
3月上旬協創研究センター講座
機能的なウォーキングエクササイズ

生活・健康

日時：5月11日(月)～6月29日(月) 13:30-14:30 各月曜日・全8回

定員：50名 受講料：5,000円(全8回分)

Webページ公開・申込受付開始：3月上旬～

森之宮キャンパス

講義概要

加齢とともに下肢筋群や全身持久力が低下していきます。こういった問題を解決するための手段としてウォーキングが推奨されます。ウォーキングは速度を変えることで比較的安全に運動強度を調整できるため、いつもどおりのウォーキングと強度の高いウォーキングを交互に織り交ぜることで下肢筋力や全身持久力の向上が期待できます。この講座では、運動効果を向上させるためのストレッチングとウォーキングを組み合わせたハイブリッドエクササイズを皆さんと実施します。

講師 川端 悠 (大阪公立大学 スポーツプログラム開発センター長/国際基幹教育機構 准教授)

受付開始
7月上旬

公大講座

横断

日時：9月2日(水)～9月25日(金) 10:30-12:00 月曜日または水曜日または金曜日・全9回

定員：60名 受講料：5,000円(全9回分)

Webページ公開・申込受付開始：7月上旬～

I-siteなんば

講義概要

大阪公立大学の研究者が自身の教育研究内容の一端を紹介し、さまざまな専門分野についてわかりやすくお話しします。

講義スケジュール

第1回
9月2日(水)

デジタルツインで拓く地域・建築防災の新しいかたち

3D都市モデルと地震観測データを融合したデジタルツイン技術により、建物・室内や地域の地震被害を仮想空間で可視化し、都市・建築防災の未来を探ります。また、都市型の森之宮キャンパスを活用した地域連携のあり方についても考察します。

講師：金子 健作 (大阪公立大学大学院 工学研究科 講師)

第2回
9月4日(金)

知れば怖くない骨盤臓器脱：今日からできる予防と治療

骨盤臓器脱は「下がる感じ」「尿もれ」など日常の困りごとにつながる女性の病気です。本講義では原因・予防法・最新治療までをわかりやすく解説し、今日からできる骨盤底ケアをご紹介します。

講師：羽室 明洋 (大阪公立大学大学院 医学研究科 講師)

第3回
9月7日(月)

小さな生命の大きな役割：環境と食を救う微生物研究

太古の時代から地球環境の形成に密接に関わってきた微生物。しかし、人類がその存在に気がついたのはわずか150年程前。古くて新しい生物といえる微生物の秘めたる力を活用する研究について解説します。

講師：谷 修治 (大阪公立大学大学院 農学研究科 准教授)



講義スケジュール

第4回 9月9日(水)

腎臓を守るための生活習慣—運動とフレイル予防を中心に—

現在、日本における慢性腎臓病の患者数は約2,000万人（成人の約5人に1人）と推計され、新たな国民病として注目されています。本講義では、腎臓の機能を守るための生活習慣について、運動やフレイル(心身の虚弱)予防の観点から、最新の知見を交えて紹介します。

講師：音部 雄平（大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科 講師）

第5回 9月11日(金)

不登校でも孤立しないまちづくり

日本社会は、子どもが学校に通うことを前提に作られています。学校に行きづらい子どもが増え続ける中、子どもも保護者も孤立しないで暮らしていけるまちはどうしたら作れるのか、滋賀県で展開しているプロジェクトをベースに考えたいと思います。

講師：西垣 順子（大阪公立大学 国際基幹教育機構 教授）

第6回 9月14日(月)

膀胱癌の治療抵抗性克服を目指して

免疫療法をはじめ新しい治療薬により進行性膀胱がんの治療成績は着実に向上していますが、効きにくい例では依然として課題が残ります。私たちの臨床・基礎研究から、その克服に向けた次の治療につながる取り組みをご紹介します。

講師：加藤 実（大阪公立大学大学院 医学研究科 講師）

第7回 9月16日(水)

災害時における障がいのある方の避難の現状

近年は大きな地震や水害が多く発生し、特に障がいのある方が身近におられる場合や当事者の方はお困りのことがあるかもしれません。今回は、これまで活動してきた被災地での経験や調査の結果の一部をお伝えし、皆様の日頃の防災にお役立ていただければと思います。

講師：小島 久典（大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科 講師）

第8回 9月18日(金)

社会経済運営の理論と社会的意思決定の問題

現実の経済では、市場によって効率的な資源配分が可能となる領域は限られています。このことを理解するために、混合経済と私的財・公共財の理論を学び、また、社会的意思決定と民主主義の問題、日本民族の特徴も学びます。

講師：吉田 素教（大阪公立大学大学院 経済学研究科 教授）

第9回 9月25日(金)

感染症対策とワクチン

現在、様々な感染症に対するワクチンが利用可能ですが、ワクチン接種を受けるかを判断する際、ワクチンの効果と安全性に関する情報が必要となります。そこで、我々の研究から実社会でのワクチン有効性及び安全性の結果を紹介します。

講師：大藤 さとこ（大阪公立大学大学院 医学研究科 准教授）



Enrich

学問を深める

人文

申込締切
3/22(日)

韓国語講座 初中級編Ⅱ

講座の詳細・申し込み ▶



2026年

2027年

日時：4月18日(土)～2月6日(土) 13:00-14:30 各土曜日・全20回

対象者：連体形を勉強した経験のある方

定員：40名 受講料：25,000円(全20回分)

URL：<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/event-06512.html>

I-siteなんば

講義概要

日常生活のことを韓国語で話してみましょ。

本講座は、初級を終え初中級レベルに伸び悩んでいる方々を対象に、日常生活における様々な場面を取り入れ、より実践的な語学力を身につけることを目指します。皆さん、一緒にチャレンジしてみませんか。

講師 河 正一 (大阪公立大学 国際基幹教育機構 教授)

河村 幸恵 (のらんな韓国語教室 代表/イベント通訳)

講義スケジュール



第1回 4月18日(土)	連体形のまとめ	第11回 9月26日(土)	ㅅ変則用言、아지다/어지다
第2回 5月9日(土)	으変則用言、아도/어도	第12回 10月17日(土)	기 때문에、거나
第3回 5月23日(土)	아도/어도 되다、 면/으면 되다/안 되다	第13回 10月31日(土)	総合練習 (쓰기、말하기、듣기、읽기)
第4回 6月6日(土)	総合練習 (쓰기、말하기、듣기、읽기)	第14回 11月14日(土)	ㄷ変則用言、못/語幹 + 지 못하다
第5回 6月20日(土)	ㅂ変則用言、ㄴ/은 지	第15回 11月28日(土)	기 전에、ㄴ/은 후에、기로 하다
第6回 7月4日(土)	ㄴ/은/는 편이다、네요	第16回 12月5日(土)	総合練習 (쓰기、말하기、듣기、읽기)
第7回 7月25日(土)	総合練習 (쓰기、말하기、듣기、읽기)	第17回 12月19日(土)	ㅎ変則用言、면서/으면서
第8回 8月1日(土)	ㄹ変則用言、게 (되다)	第18回 1月9日(土)	도록、아/어 버리다
第9回 8月22日(土)	지 말다/마세요、ㄹ까/을까 하다	第19回 1月23日(土)	総合練習 (쓰기、말하기、듣기、읽기)
第10回 9月12日(土)	総合練習 (쓰기、말하기、듣기、읽기)	第20回 2月6日(土)	総まとめ

* 感染症の流行や自然災害等の影響により、日程・開催方法・講座内容等が変更となる場合があります。

お申し込み方法について

以下は大阪公立大学生涯学習センターで実施する公開講座の一般的な受講の流れです。講座によって異なる場合がございますので、受講料のお支払い方法や注意事項については、各講座の詳細ページ及び受講案内を必ずご確認ください。

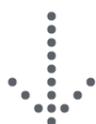
各講座の詳細は「大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイト」に掲載します。



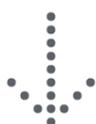
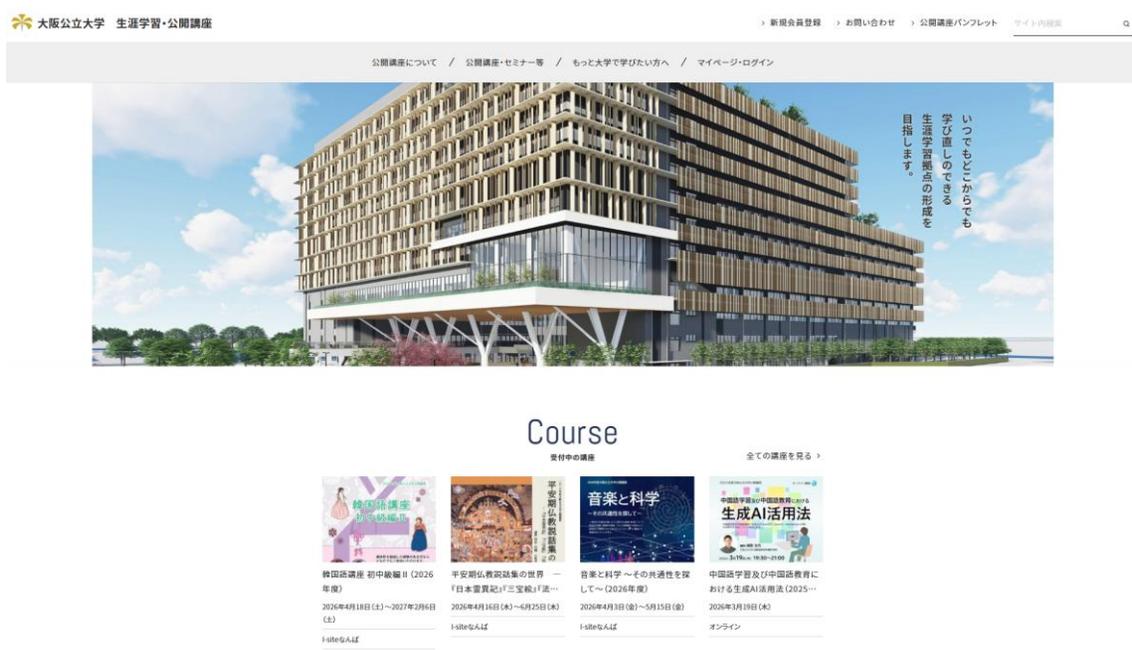
<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/>

Webサイトにアクセス

上記URLまたは二次元コードから「大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイト」にアクセスし、ご希望の講座を検索してください。



大阪公立大学 生涯学習・公開講座Webサイト TOPページ画面



受付中の講座が画面に表示されます。

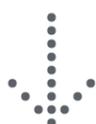
講座内容を確認

ご希望の講座をクリック（またはタップ）すると詳細ページへ進みます。講義概要、スケジュール、申込方法等をお確かめください。

※本冊子に掲載していない講座もあります。

※各講座の詳細および申込フォームは、順次Webサイトに公開されます。

開講日の1～2か月前に公開・申込開始を予定しております。



次頁に続く



前頁からの続き



(ご注意ください) 講座によってお申し込み方法が異なります。
必ず講座ごとに内容をご確認ください。

お申し込み



Webサイトからのお申し込み

各講座の詳細ページ「申し込む」ボタンから申込フォームへアクセスし、必要事項をご入力の上送信してください。

受付完了通知メールが届きますが、受講決定通知ではありません。

申込締切後、大学から受講案内メールをお送りします。



往復はがきによるお申し込み

往復はがきの往信用文面に必要事項をご記入の上お送りください。

※講座によりはがきでのお申し込みが不可の場合や記入する内容が異なる場合がございます。詳細は各講座のチラシまたはWebページの申込方法を必ずご確認ください。

申込締切後、大学から受講案内はがきをお送りします。

受講案内を受け取る



※応募者多数の場合は抽選の結果をお送りします。後日キャンセルが出た場合は、選に漏れた方の中から再抽選のうえ、繰り上げ当選のご案内をすることがあります。

個人情報について：

お申し込みの際の個人情報は、申し込み後の事務連絡、統計資料等の作成及び本学公開講座のご案内に使用いたします。利用目的以外の使用については、一切いたしません。

受講準備



対面講座

開講日までお待ちください。

受付で受講料をお支払いください。

(現金またはキャッシュレス決済)

※連続講座の場合は初回受講時に全回分をお支払いいただきます。

オンライン講座

受講案内に従い受講料をお支払いください(銀行振込またはオンライン決済)。また、インターネット環境やZoomアプリ等をご準備ください。

メールに記載のリンク等からオンライン講座に参加してください。

受講当日

* オンライン講座の受講方法はこちらをご覧ください ▶▶

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/about/application/>



大阪公立大学公開講座には、各種サービスをご利用いただける「会員制度」もございます。ぜひご登録ください。

会員制度について ▶▶



新規会員登録 ▶▶



* 会員登録は任意です。

* 登録にはメールアドレスが必要です。



本学が実施する公開講座についてご案内いたします。公開講座にお申し込みいただく前に、以下の内容をよくお読みくださいますようお願いいたします。

1. 大阪公立大学公開講座のご案内

本学では学術研究の成果を公開することにより、地域社会に広く生涯学習の機会を提供することを目的として、公開講座を開催しています。

公開講座は、年齢・学歴を問わずどなたでも受講できます。対象者、受講料、開講日時など、講座ごとに受講条件が指定されていますので、Webサイト上の各講座のページ、公開講座ご案内パンフレット(半期ごと)、各講座の案内チラシなどで詳細についてご確認ください。

2. 開催形式

・対面講座

本学の施設を主な会場として受講いただきます。学外が会場となることもございます。

※自然災害等やむを得ない事情により、オンライン講座に変更となる場合がございます。

・オンライン講座

パソコン、タブレット、スマートフォンなどを使用して、好きな場所からYouTube、Zoom等にて視聴(受講)いただけます。

※パソコン、タブレット、スマートフォンなどの視聴用の端末及びYouTube、Zoom等を視聴できるインターネット環境が必要です。

※視聴にかかる通信費等は受講される方のご負担となります。

※視聴用の端末や視聴用ソフトに関するトラブル、ご自身の通信環境等が原因の問題や障害などにつきまして、個別の対応・補償はいたしかねます。

3. お申し込み・お支払い

講座によってお申し込み方法やお支払い方法が異なります。Webサイト上の各講座のページまたは各講座の案内チラシをご確認ください。

講座の内容に応じて、受講に一定の資格・条件を付している場合があります。

講座の受講において、特別な配慮を希望される場合は、申し込み前に各講座の問い合わせ先までご相談ください。

受講料には消費税が含まれています。

お支払い方法に銀行振込が指定されている場合、振込手数料はご自身でご負担ください。

お支払い方法にオンライン決済または銀行振込が指定されている場合、支払額に過不足がないように十分にご確認ください。

4. キャンセルポリシー

講座開始前であれば、お申し込み後のキャンセルが可能です。ただし、お申し込み後に受講できなくなった場合は、各講座のページまたは各講座の案内チラシに記載の問い合わせ先まで必ずご連絡ください。

講座開始後にキャンセルされた場合、受講料の返金はできません。

ご連絡なくキャンセルが続く場合、受講をご遠慮いただく場合がございます。

5. 受講

お申し込みいただいたご本人以外の方の受講はできません。

同伴や見学は、お断りいたします。

施設内は禁煙です。飲食については各施設のルールを順守してください。

貴重品は必ず手元におき、盗難や紛失にはご注意ください。本学では責任は一切負いかねます。

会場が本学施設の場合、車両でのご来学はご遠慮いただいております。公共交通機関あるいは近隣の有料駐車場をご利用ください。

講座の写真撮影、ビデオ撮影、録音、録画は禁止いたします。

本学の記録用として、対面講座で写真撮影またはビデオ撮影させていただく場合がございます。

本学の記録用として、オンライン講座で録画をさせていただく場合がございます。

6. 講座の中止・休講・補講など

受講者が一定数に満たない場合、その他やむを得ない理由により開講を中止する場合がございます。

自然災害、交通機関の事情、講師の都合、その他やむを得ない事情により講座を休講とする場合がございます。その際の際の交通費についての補償はできません。補講の有無については別途ご案内いたします。

休講や中止となった場合は、Webサイトの「緊急のお知らせ」(情報がある場合のみトップページに掲載)にてお知らせするほか、メールなどで個別にご連絡を差し上げる場合がございます。

補講に出席できない場合でも受講料の返金はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

受講料をお支払いいただいた後に本学の判断により中止や休講となる場合、受講料の一部を返金することがあります。返金は、受講者の銀行口座への振込みのみとなります。

7. 資料

資料のみの販売はいたしません。

資料を複写、転載、配布、送信等二次利用することは固く禁じます。

講座によって、テキストを指定し、ご購入いただく場合がございます。

テキストを購入した講座が中止になった場合、ご自身で購入されたテキスト代についてのご請求・返金には応じられません。あらかじめご了承ください。

8. 受講資格の取消

以下のような好ましくない行為があった場合は、本学の判断により、教室からの退出、講座への出席禁止、あるいは損害の賠償を求める場合がございます。

- ・法令に違反する行為又は犯罪行為に関連する行為
- ・公序良俗に反する行為
- ・本学、他の講座受講生又は第三者に不利益、損害、不快感を与える行為
- ・本学、他の講座受講生又は第三者の知的財産権、肖像権、プライバシーの権利、名誉、その他の権利又は利益を侵害する行為
- ・反社会的勢力等への利益供与
- ・第三者になりすます行為
- ・本学の許可なく、公開講座の会場での営業、宣伝、広告、勧誘、その他営利を目的とする行為
- ・面識のない者との出会いや交際を目的とする行為
- ・公開講座の会場での他の講座受講生の情報を収集する行為
- ・宗教活動又は宗教団体への勧誘行為
- ・本学の許可なく、公開講座の内容の録音、録画その他の記録又は保存を行う行為並びに講座受講生以外に対し視聴可能にさせる行為
- ・本学のネットワーク又はシステム等に過度の負荷をかける行為
- ・本学のネットワーク又はシステム等への不正アクセス



- ・以下に該当し、又は該当すると本学が判断する情報を本学又は他の講座受講生に送信する行為
 - コンピューター・ウイルスその他の有害なコンピューター・プログラムを含む情報
 - 過度に暴力的、残虐的、猥褻な表現を含む情報
 - 差別を助長する表現を含む情報
 - 自殺、自傷行為、薬物の不適切な利用を助長する表現を含む情報
 - 反社会的な表現を含む情報
 - チェーンメール等の第三者への情報の拡散を求める情報
 - 他人に不快感を与える表現を含む情報
- ・本学教職員（外部講師を含む）、他の講座受講生へ迷惑となる行為や講義の進行を妨げる行為
- ・前述の行為を直接又は間接に惹起し、又は容易にする行為
- ・その他、本学が不適切と判断する行為

9. 個人情報の取扱い

お申し込み等において本学にご提供いただいた個人情報は、本学のプライバシーポリシーに基づき、講座申し込み後の事務連絡、統計資料等の作成および本学公開講座等のご案内に使用いたします。これらの利用目的以外には、一切使用いたしません。

<お願い>

上記とは一部異なる条件で講座を実施する場合がございます。講座の詳細につきましては、Webサイト上の各講座のページまたは各講座の案内チラシを必ずご確認ください、ご了解いただいた上でお申し込みくださいますよう、お願いいたします。

無料

大阪公立大学公開講座・生涯学習Webサイトでは、講義動画を公開しています。本学の教員が自身の教育研究内容の一端をご紹介します、さまざまな専門分野について分かりやすくお話しします。ぜひ、ご自身の学習にお役立てください。

講義動画公開中！ ※全編字幕付き

公開中の講義

- ジェントリフィケーションーロンドン東部スピトル フィールズの事例
- 建築公開イベント「東京建築祭」が目指していること
- 中原中也とランボーの韻律：フランスのうた
- 「親ガチャ」という嘆きに「教育無償化」は福音か？
- テレスコープアレイ実験で検出された史上最大級のエネルギーをもつ宇宙線
- 自律型海中ロボットと海洋環境生態系のモニタリング
- 公開講座の源流ー学問の公開ということをめぐるー



講義動画はこちらのURLまたは二次元コードよりご覧ください。

<https://www.omu.ac.jp/lifelong-learning/course/movie/>

どなたでも
自由にご視聴
いただけます



公開講座の会場(本学施設)

車両での来学はご遠慮いただいております。
公共交通機関をご利用ください。

I-siteなんば

大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号
南海なんば第1ビル 2階・3階

- 南海電鉄「なんば駅(中央出口)」下車、南海線東側の道を南へ約800m、徒歩約12分
- 南海電鉄高野線「今宮戎駅」下車、北へ420m、徒歩約6分
- Osaka Metro御堂筋線「なんば駅(5号出口)」下車、南へ約1,000m、徒歩約15分
- Osaka Metro御堂筋線・四つ橋線「大国町駅(1番出口)」下車、東へ約450m、徒歩約7分
- Osaka Metro堺筋線「恵美須町駅(1-B出口)」下車、西へ約450m、徒歩約7分

I-siteなんば アクセスマップ



森之宮キャンパス

大阪市城東区森之宮二丁目1番132号

- Osaka Metro中央線・長堀鶴見緑地線、JR大阪環状線「森ノ宮」駅、徒歩約13分
- Osaka Metro長堀鶴見緑地線「京橋」駅、徒歩約20分
- JR大阪環状線・JR東西線・学研都市線、京阪本線「京橋」駅、徒歩約15分
- Osaka Metro中央線・今里筋線「緑橋」駅、徒歩約15分
- Osaka Metro今里筋線、JRおおさか東線・学研都市線「鳴野」駅、徒歩約13分

森之宮キャンパス アクセスマップ





A series of horizontal dashed lines for writing, set against a light yellow background.

大阪公立大学
生涯学習・公開講座
Webサイト



■お問い合わせ・チラシのご請求

大阪公立大学 産学官民共創推進室
社会連携担当（生涯学習センター）

〒556-0012
大阪市浪速区敷津東2-1-41
南海なんば第1ビル 2階・3階
大阪公立大学 I-siteなんば

Tel 06-7656-5112
Fax 06-7656-5203
E-mail gr-shak-ext01@omu.ac.jp
※受付時間：月～金曜日 9:00～17:30
（祝日および休業日を除く）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

